

袋いっぱいのバレイショに笑顔もいっぱい

『じゃがいもまつり』 in nagashima 2013



↑袋いっぱいにバレイショを詰める掘取体験参加者

5月3日、「じゃがいもまつり」が開催されました。

このイベントは、長島町特産の赤土バレイショを県内外に広くアピールすることを目的に、昨年に続き2回目の開催となり、町内外から約6500人が訪れました。

オープニングのあかね太鼓による迫力ある太鼓の演奏で幕を開け、開会式で、中村信行実行委員長（鹿児島県み農業協同組合常務）は「長島町は安全・安心な赤土バレイショづくりが盛んです。おいしいバレイショをたくさん食べて、長島町を満喫してください」とあいさつしました。川添健町長は「長島町は人口減少が続いているが、このイベントで、農業の素晴らしさを知り、農業人口増加につながれば」と来場者に呼びかけました。

開会式後は、先着2000人に袋詰めされたバレイショの無料配布が行われたほか、バレイショの掘取体験には多くの家族連れが詰め掛け、長蛇の列となりました。

風車公園では、子どもたちに大人気の「薩摩剣士隼人ショー」もあり、大勢の親子連れでにぎわいました。

掘取体験の参加者らは、3時間隔に仕切られた区画内で、手で土を掘り起しバレイショを収穫しました。参加した薩摩川内市の男性は「大きなバレイショがたくさん掘れて面白かった。ぜひ来年も来たい」とバレイショでいっぱいになった袋を片手に満足の様子でした。

↓バレイショの無料配布



↓あかね太鼓による太鼓の演奏



↓大人気のキャラクターショー

